



村田 信之

村田議員の動画はこちら



質問項目

- ・学校給食・食育について
- ・小規模保育について

小規模保育の価値とはなにか

子育て支援の重要な社会資源である

議員 本市は学校給食を、栄養や安全を確保する行政サービスとして捉えているのか、それとも子どもの学びの場として位置づけているのか。

議員 本市は学校給食は、栄養管理・衛生管理を担う行政サービスであると同時に、食育を通じた教育活動である。児童生徒の生命と健康を守る制度であり、栄養管理と衛生管理を前提に、学びの場としての食育の充実にも取り組んでいるところである。給食を通して食習慣の形成や食文化の理解を深めることは、子どもたちの健全な成長につながる重要な取組であると認識しており、学校と給食センターが連携しながら食育の充実を図っていく考えである。

議員 「おいしさ」という要素をどのように受け止めているのか。

議員 給食の「おいしさ」は単なる味覚ではない。まず栄養であり、安全に食べられることが前提である。次に給食は食文化や食習慣を学ぶ学びの場である。また、全ての子どもに栄養のある食事を保障するセーフティネットでもあり、給食の「おいしさ」は、子どもたちの健全な成長につながる重要な取組であると認識している。

議員 本市は小規模保育をどのよう価値を持つ存在として捉えているのか。

議員 本市は小規模保育は少人数保育の利点を生かし、子ども一人ひとりの発達状況や生活背景を丁寧に把握しながら保育を行うことができる。乳幼児期の安定した配慮が必要な子どもへの対応、保護者への継続的な支援など、個々の状況に応じた支援が可能である。地域

保健福祉部長 定員割れは事業者の課題だけでなく、少子化や利用ニーズの変化による構造的要因もある。

議員 定員割れが生じやすい現状をどのように考えているのか。

議員 小規模保育は重要な社会資源であり、子どもも施策全体の課題として捉える必要がある。保育、教育、福祉及び保健の取組を子ども中心に捉え、部局横断的に連携し、事業者との連携を図り、持続可能な子育て支援体制の確保に努めていく。

セーフティネット：経済状況や家庭環境にかかわらず、困難な状況にある人でも最低限の生活や支援が保障される仕組みであり、社会全体で人の暮らしを支える基盤となるもの。

小規模保育計画：主に0歳から2歳の子どもを対象に、少人数で保育を行う事業であり、一人ひとりの発達や生活背景に応じたきめ細やかで保護者に対する支援を行う保育。

の子育て支援の基盤となる重要な社会資源であると認識している。

議員 定員割れが生じやすい現状をどのように考えているのか。

保健福祉部長 定員割れは事業者の課題だけでなく、少子化や利用ニーズの変化による構造的要因もある。

小規模保育は重要な社会資源であり、子どもも施策全体の課題として捉える必要がある。保育、教育、福祉及び保健の取組を子ども中心に捉え、部局横断的に連携し、事業者との連携を図り、持続可能な子育て支援体制の確保に努めていく。

小規模保育は重要な社会資源であり、子どもも施策全体の課題として捉える必要がある。保育、教育、福祉及び保健の取組を子ども中心に捉え、部局横断的に連携し、事業者との連携を図り、持続可能な子育て支援体制の確保に努めていく。



きめ細かく家庭的な雰囲気で行われるのが小規模保育の特徴